



子ども動物園飼育員

### 三浦 圭さん



子ども動物園で飼育係をしている三浦圭さんに話をうかがいました。

三浦さんは飼育だけではなく、動物の保護、動物園の企画、施設的设计、建設など様々な仕事も行っています。

三浦さんは、小学校五年生で既に動物園で働くことを決めたほどの動物好きで、「大好きな動物の飼育で大変のことはなにもない。むしろ部下を遣ったり、人を動かすことの方が大変だ」とおっしゃっていました。

そして、私たちに最も伝えたいこととして、地球環境の保護について話してくださいました。

「もし地球環境がこのままどんどん悪くなると、食物連鎖の頂点にいるライオンなどが生きられなくなってしまう。そしてその下に続く他の全ての生き物も生きられなくなる」と話す。また「スズメがいなくなると害虫が増え木が死んでしまう」と。だから今、地球上に生きている私たちが動物を保護し、全ての動物が生きていける環境を守らなければなりません。



金澤信治園長会見

円山動物園園長である金澤信治さん(五八)が二十二日に開かれた記者会見内で、円山動物園のゾウについて話しました。

二〇〇七年一月二十八日にゾウの花子(推定六十歳)が天国に旅立ちました。

現在、花子の亡骸を標本にする作業が進められており、一周忌の日に公開することを明らかにしました。

円山動物園では花子が亡くなって以来、ゾウがいません。動物園としては再びゾウを飼育展示してお客様に見ていただきたいと思っていることを園長は説明しました。

しかし、それには様々な問題があります。世界的に希少動物であり、展示目的で導入することはワシントン条約の絶滅危惧種のルールにより不可能となっているのです。ゾウを導入するには繁殖や野生生物の保護を目的とする必要があります。本来、群れで生活するゾウは最低でもオス一頭、メス複数等の群れで飼育しなければなりません。

## みんなに愛された『看板娘』ゾウの花子



そのためには、広いゾウ舎が必要です。また、日本国内ではゾウの飼育頭数が少ないことや余剰が少ないことから、海外から輸入しなければいけません。それによりゾウを輸出する国との話し合いや購入費用の調達に時間がかかってしまいます。

こういった問題も含め、円山動物園は市民の方のさまざまな意見を幅広く聞き、今後、新たなゾウの導入について考えていくそうです。

それから、園長は、円山動物園の取り組みについても話してくれました。

円山動物園は「見る・触れる・体験する」ことを通して、お客様に感動していただくことを目的としています。

実際に「みんなのドキドキ体験」として、動物にエサをあげたり触ったりといったイベントが三十一種類も開かれています。これは日本一のメニュー数だそうです。

このようなイベントを開くことにより、お客様にしっかりと動物を見て生態を理解していただいたり、滞在時間を長くしていただいたりすることができます。

しかし、これらのイベントをショーと呼ぶ方もいるため、動物園側はイベントの際に趣旨や環境のメッセージをしっかり伝えることを大事にしています。

円山動物園は立地条件も良く、自然に恵まれています。大自然の中で円山動物園の動物たちはのびのびと生活しています。

皆さんもご家族・友人・恋人とご来園してみてください。

## 「環境を考える場」へ

狼とエゾシカの共同展示

円山動物園では「オオカミ舎」を新たに創設する。これは北海道を代表するオオカミとエゾシカを同じ場所に展示することで、過去に人間がエゾシカの皮を獲得するために、捕食者であったエゾオオカミを駆逐し絶滅に追いやった歴史を示し、人間との関わりを考えてもらうものだという。

長い年月をかけ、現在大人気の旭山動物園から良いところを取り入れつつ「環境」を考えてもらう展示を目指し、円山らしさを出せる動物園を作り上げる。

実は昔、昭和四十八年に、この円山動物園の年間入場者数は札幌

市の当時の人口と同じ百二十四万人と最高を記



録を残した。それが、平成一八年現在では六十万人と半分以下までに落ち込んでいる。

この機会に「環境を考える場」へ変わっていく動物園を訪れ、環境問題について考えてみてはどうだろうか。

環境問題は私たち人間が人間の繁栄のために引き起こしてしまったものであることを忘れてはいけない。

## 編集後記

夏の日差しが照りつける中、日陰を求めて暑さをしのぐ動物たち。その動物たちを元気な子どもたちが輝く目で見ています。そんなさわやかな光景は設立してから五十六年間変わらない。参加型のイベントを多く開催し、今、話題の旭山動物園の後に続くよう到来園者を増やしている。今までは子供向けのイベントが主流だったが、最近では大人をターゲットにしたイベントを始めて、デートスポットとしても注目を浴びている。動物と直接接触し合える「みんなのドキドキ体験」は円山動物園一番の見所ではないだろうか。ぜひ、家族や友人、恋人と訪れて欲しい。